

運動会の開催にあたって……

緊急事態宣言の中運動会を実施するにあたって開催に踏み切った経緯をご説明いたします。

緊急事態宣言が出た段階で運動会（保護者参加の行事）は『中止』か『延期』かの二択を未来局からも依頼されました。

その上で『中止』を選択した場合何らかの形で保護者に子ども達の成長の様子を知る機会を設けるようにという条件もありました。

保護者の皆様に参加いただくためにはあらかじめ日程をお知らせし、お休みを取っていただくなくてはなりません。

9月は職員が2回目のワクチン接種を受けるため（予約済み）翌日以降の体調不良に対応するべく特別休暇を用意しています。お知らせしていた日程以外での実施は困難であり、振替日のある『中止』を選択することは難しく、『延期』とした場合、10月の天候では不安定で開催は難しいと思われます。判断基準としていた南区の感染状況は減ってはいません。

本当に実施は不可能なのか……

日々元気に運動会へ向けて取り組みを続ける子ども達を見ていて、保育園とは一人一人が積み上げてきたもの、成長の証、自信と達成感これらを子ども達自身が感じる教育現場。（ただの託児施設ではありません）そのために不可欠な物の一つが『観客』つまりご家族の存在や応援、拍手です。大人と違い子ども達に『無観客』はあり得ません。運動会というゴールがはっきりわかる形で実施しなくては子ども達がそれらを捉えることは難しいのです。

そのために私たちが子ども達にしてあげられることは『運動会を実施する』『保護者の方に応援していただく』その上で屋外での行事ではあるが『さらに感染対策の見直し』これらを検討し実施するに至りました。行事は子ども達を精神的に大きく成長させてくれます。そのことを長年幼児教育に携わる私たちは経験済みです。

2歳、3歳のクラスの子どもたちにとっては『初めての運動会』そんな感覚かもしれません。

発表 15分の中に進級後取り組んだもの、前年度から続いているものもあります。この後も『できた!』を一つ一つ積み上げます。

4歳きりん組。昨年経験できなかった運動会、はりきっています。来年は保育園の顔。年長児です。5歳らいおん組。最後の運動会です。保護者の皆様と一緒に成長を喜びあいたい。もっともっと挑戦して獲得してほしいことがあります。らいおん組からきりん組へ運動会を通して伝えたい事、伝える事があります。

実施するにあたって不安や疑問を感じるご家庭もあるかと思えます。参加の選択は自由です。

ご家族で十分話しあってください。

子ども達は普段と変わらない時間を過ごします。参加いただける保護者の皆様をお願いします。

- ・ご自宅で検温をしてからご参加ください。
- ・必ずマスクを着用してください。
- ・私語厳禁です。←————— これが重要なポイントです

